

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2019-69552(P2019-69552A)

【公開日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2019-017

【出願番号】特願2017-196719(P2017-196719)

【国際特許分類】

B 3 2 B	27/00	(2006.01)
B 3 2 B	27/18	(2006.01)
C 0 9 J	201/00	(2006.01)
C 0 9 J	11/06	(2006.01)
C 0 9 J	7/20	(2018.01)
B 6 5 D	65/40	(2006.01)

【F I】

B 3 2 B	27/00	D
B 3 2 B	27/18	A
C 0 9 J	201/00	
C 0 9 J	11/06	
C 0 9 J	7/02	Z
B 6 5 D	65/40	D

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月17日(2020.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外層、接着剤層、及び内層をこの順に有し、

前記接着剤層が、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベンゾフェノン系紫外線吸収剤を含み、かつ、

チューブ容器に用いられる、

透明積層体。

【請求項2】

前記ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の量が、前記透明積層体の面積当たり、0.10 g / m<sup>2</sup>以上0.30 g / m<sup>2</sup>以下であり、

前記ベンゾフェノン系紫外線吸収剤の量が、前記透明積層体の面積当たり、0.10 g / m<sup>2</sup>以上2.00 g / m<sup>2</sup>以下である、

請求項1に記載の透明積層体。

【請求項3】

前記外層及び前記内層が、それぞれ、LLDPEフィルムを含む単層構成又は多層構成の層である、請求項1又は2に記載の透明積層体。

【請求項4】

前記内層が、PET層を更に含む多層構成の層である、請求項3に記載の透明積層体。

【請求項5】

前記接着剤層が、2液硬化型の接着剤と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベン

ゾフェノン系紫外線吸収剤とを含む、2液硬化型の紫外線吸収性接着剤組成物の硬化物から構成される層である、請求項1～4のいずれか一項に記載の透明積層体。

【請求項6】

前記2液硬化型の接着剤の硬化剤が、脂肪族系硬化剤である、請求項5に記載の透明積層体。

【請求項7】

前記透明積層体について、測定波長200nm～500nm、スキャン速度600nm／分、及びスリット幅4.00nmの条件にて紫外線透過率を測定したときに、波長360nm、330nm、及び270nmにおける紫外線透過率がいずれも5.0%以下である、請求項1～6のいずれか一項に記載の透明積層体。

【請求項8】

請求項1に記載の透明積層体の製造方法であって、  
外層及び内層を、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベンゾフェノン系紫外線吸収剤を含む接着剤層を介して積層することを含む、  
透明積層体の製造方法。

【請求項9】

前記外層と前記内層とを、2液硬化型の接着剤と、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤及びベンゾフェノン系紫外線吸収剤とを含む、2液硬化型の紫外線吸収性接着剤組成物を用いるドライラミネートによって積層する、請求項8に記載の透明積層体の製造方法。